

新社会党・無所属の会

藤崎ちさこ

市議会ニュース

2018年 7月発行

習志野市袖ヶ浦

3-7-5

責任者 藤崎ちさこ



2018年 6月市議会

保育所等で充実した保育を！

小中学校の給食を無償化に！

習志野6月市議会は5月30日に開会し、6月26日まで審議しました。11の議案の中、特に注目すべき「習志野市税条例の改定」と他2議案についてご報告します。

地方税法の改正に伴い

市税を改正

◎地方税法の改正に伴い、改正する税

1、個人市民税

- (1) 給与所得控除・公的年金等控除の控除額を一律10万円引き下げ、基礎控除を一律10万円引き上げる。高所得者の基礎控除額が徐々に減少する仕組みを設ける。
- (2) 均等割が非課税となる者の合計所得金額の範囲を10万円引き上げる。

【変わること】

- ・給与収入850万円以下の場合、税負担が変わりません。
- ・給与収入850万円超で「子育て・介護世帯以外」の場合は、税負担が増加します。

【施行期日】

2021年1月1日から施行します。

2、固定資産税

中小企業の設備投資を促進するため、3年間、「わがまち特例」による特例措置を講じる。機械設備等に係る税負担を軽減。

【解説】「わがまち特例」とは？

2012年税制改正により地方税の特例措置について、国が一律に定めていた内容を地方自治体が自主的に判断し、条例で決定できるようにする仕組み「地域決定型地方税制特例措置（通称：わがまち特例）」が導入された。

3、たばこ税

- (1) たばこ税率を2018年10月1日より3段階で引き上げる。
- (2) 「加熱式たばこ」の区分を創設する。



◎習志野市営住宅等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する

(1) 収入申告義務の緩和

認知症等のため、入居者による収入の申告が困難である場合、市が次の方法によって収入を把握し、市営住宅の使用料を定められることとする。

- ・入居者の雇主、取引先その他の関係人に報告を求める方法。
- ・官公署において必要書類を閲覧し、又は記録する方法。

(2) 対象者

- ・認知症である者
- ・知的障害者
- ・精神障害者
- ・これらに準ずる者

◎習志野市のスポーツ施設の使用料の改定

【対象施設】袖ヶ浦体育館、東部体育館、袖ヶ浦テニスコート、実籾テニスコート、秋津テニスコート、秋津サッカー場、秋津野球場、茜浜パークゴルフ場、芝園テニスコート・フットサル場

【施行期日】2019年4月1日から施行。



また、私、藤崎ちさこの一般質問（市政について質問するもの）について報告します。

(1) 放課後児童会の問題について

【藤崎】

夏休み等長期休業中だけでも、全ての希望者を受け入れられないか。

【答弁：こども部長】

施設確保、支援員確保に努める。全ての児童受け入れのために取り組む。

【藤崎】

鷺沼・鷺沼第2児童会は、すでに定員いっぱいである。今後の対策は？

【答弁：こども部長】

今年度中には25名の拡大を図る。

【藤崎】

谷津小学校は、現在3児童会。2020年からの新校舎内の児童会室では足りないのではないか？

【答弁：こども部長】

一時校舎を利用する。教育委員会とさらに協議を進める。

【藤崎】

支援員の資格要件は幅広い。広い視点で職員の採用が進められるのではないか。

【答弁：こども部長】

補助職員については資格を問わず、子どもの保育に情熱のある人材を幅広く募集している。

【要望】

希望する全児童が入会できるように施設拡大・支援員確保を、また、安定的な運営に取り組むよう、要望する。

(2) 保育所等の問題について

【藤崎】 2018年4月1日現在、待機児童144名、また、待機児童の定義には当ては

まらないが希望する保育所に入れない人110名。保育所に入れず、やむなく一時保育を選択している人もいる。待機児童を解消するための保育施設の拡大、子育て世代の経済的な負担を軽くする新たな取り組みが必要なのではないか。

【答弁：こども部長】

保育所の定員拡大と合わせて、一時保育を利用せざるを得ない方への助成は今後検討していく。

【藤崎】

谷津南保育所は、4月1日から給食調理業務を民間に委託開始したが、委託業者が4月23日までの間、営業許可申請を行っていなかった。議会への報告もなく、謝罪もない。「食の安全」を軽視し、市の監督責任を放棄しているとしか思えない。きちんと報告し、再発防止策を示すべきだが、いかがか伺う。

【答弁：こども部長】

市は、給食調理業務委託の発注者として、監督する立場にある。これを反省し、即、対策を講じ、再発防止について確認した。コンプライアンス（法令遵守）、契約内容の適正な履行を徹底していく。

【要望】

何といっても市の監督責任が問われる問題。二度とこのようなことが起こらないために、隠ぺいすることなく反省し、本気で再発防止に取り組んで欲しい。子どもたちの「食の安全」を最優先課題に。

(3) 小中学校の給食無償化を！

【藤崎】

子育て支援、学校給食費徴収の職員負担軽減のために、学校給食の無償化を展開

する動きが広まっている。全国83市町村で無償化を実施している。習志野市でも小中学校の給食の無償化に取り組むべきと考えるが、いかがか伺う。

【答弁：学校教育部長】

すでに様々な子育て支援を実施している。また、財源確保が難しいので、小中学校の給食の無償化は検討していない。

【全国の先進事例】

《山口県和木（わぎ）町》

全国で一番早い取り組み。1951年から小学校で実施し、その後、中学校に拡大。

《兵庫県相生市》

2011年、幼稚園から中学校までの給食無償化を開始し、全国に注目される。

《山梨県早川町、丹波山村》

2012年から小中学校の教材費、修学旅行費、学校給食費などを全額負担。

【千葉県内 近隣市の先進事例】

《市川市》

小中学校に在籍する第3子以上の子ども

《浦安市》

22歳以下の子どもを第1子として、その第3子以上の子どもを無償化。

議案・陳情に対する賛否の理由

【習志野市税条例の改正】

基礎控除額の見直し等が不公平であるため、反対。

【習志野市スポーツ施設の使用料の改定】

使用料の急激な値上がりとなる施設もあるため、反対。

【小中学校の普通教室すべてにエアコンの設置を求める請願】 地球温暖化等で平均気温が上がっている。児童生徒が学習に集中できるよう、学習環境を整える必要があるため、賛成。

議案・請願・陳情に対する議員の賛否

所属会派	氏名	習志野市税条例の改正	習志野市スポーツ施設の使用料の改定	小中学校の普通教室にエアコンの設置を求める請願
新社会党・無所属の会	宮内 一夫	×	×	○
	藤崎ちさこ	×	×	○
日本共産党	谷岡 隆	×	×	○
	荒原ちえみ	×	×	○
	入沢 俊行	×	×	○
環境みらい	央 重則	○	○	○
	市角 雄幸	○	○	○
	中山 恭順	○	○	○
民意と歩む会	木村 孝	○	○	○
	佐野 正人	○	○	○
	立崎 誠一	×	×	○
都市政策研究会	平川 博文	○	○	○
真 政 会	荒木 和幸	○	○	×
	宮本 博之	○	○	×
	鮎川 由美	○	○	×
	伊藤 寛	○	○	×
	佐々木秀一	○	○	×
公 明 党	小川利枝子	○	○	×
	清水 晴一	○	○	×
	布施 孝一	○	○	×
	真船 和子	○	○	×
	木村 孝浩	○	○	×
元気な習志野をつくる会	田中真太郎	—	議長のため賛否なし	—
	帯包 文雄	○	○	×
	加瀬 敏男	○	○	×
	関根 洋幸	○	○	×
輝く習志野をつくる会	関 桂次	○	○	×
	相原 和幸	○	○	×
	飯生 喜正	○	○	×
	清水 大輔	○	○	×

(ご意見の連絡先) 090-8312-7845